

## 自己評価・学校関係者評価書

静岡田町幼稚園

### 1. 幼稚園の教育目標

- 健康で明るい子
- 自主性のある子
- 情操豊かな子

### 2. 本年度の重点目標(学校評価の具体的な課題)

#### 『子ども一人ひとりのよさと可能性を伸ばす教育』——4

- 一人ひとりの良さや表れを見つけて、その子に合った指導を考えるようにしている。
- 子どもの心や思いを否定することのないよう肯定的に受け止め、良い方向に導いていけるよう努力している。
- 行動や発言だけでなく、表面では見られない子どもの思いや良さを押し量ったり、保護者の願いを感じとったりする努力をしている。
- 一人ひとりや全体を把握し、それに合った声掛けをするようにしている。
- 教師自身日々振り返りをし、改善点や新たな手立てなどを考え可能性を伸ばす教育ができるよう努力している。
- 気になる姿に注意が多くなりがちだが、その一方で何が得意で、どこを伸ばせるのかを考えるようにしている。
- 子ども達の個性を理解し伸ばしていくためにはどうしたら良いかを、担任だけでなく他の教師にも聞いている。
- 子どもの良い姿や頑張りを他の子どもに伝えることで、クラス全体が伸びていくようにしている。
- 頑張っている場面や良い表れなどを見つけた時にはたくさん褒め、担任にも伝え教師間の情報共有に努めている。
- 子ども達の話をしつくり聞いてコミュニケーションをとるよう心掛けている。
- 一人ひとりの良さに気付くためには、一人ひとりをよく見る大切であると思っているので、その子の行動や変化に気付けるよう努力している。また気付いたときは、自己肯定感が高まるような声掛けをしている。
- \* 気になる子に気を取られて全体を見逃す時があるので気をつけたい。
- \* 注意点ばかりに目が行き、その子の良さを見逃してしまうことがある。
- \* 気になる行動や姿を共有するだけでなく、良さを伸ばすことへの意見交換をしていきたい。

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由	関係者評価	
			評価	理由
I.保育の計画性	4	・年度当初に計画を立てたが、子どもの実態により変更することはあった。その際に他の教師と相談や連携をとることができて良かった。 ・子どもの姿や実態に合わせて話し合ったり相談したりして立てている。 ・見通しを持った計画を立てるようにしている。 ・月毎にどんな力を伸ばしていきたいかを考えながら保育補助に努めた。 ・未就園児の会の計画を担当教師と一緒に早めに行い、実施後の反省も次年度に生かせるようにしている。 ・英語のレッスンプランは、学年の月案などを参考にし、自分なりにきちんと理解した上で、指導計画を立案している。 *反省を次に生かせないことがある。 *環境構成の工夫を考えていきたい。 *教師間で、園の教育理念や方針について	4	・園児の個々の状況に合わせた臨機応変な取り組みが良い。 ・子どもの実態に合わせて計画を変更する柔軟性は大切であり、その都度、教育効果の見立ては、総合的に判断すべきである。 ・課題についてはすべてクリアにすることは難しく、教員の個性もあるため、個性の尊重と良さを共通理解していくと良い。 ・若手の先生からベテランの先生まで、クラスの枠を超えた多角的なアプローチで園児を見守る体制が出来ている。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>て深く掘り下げ、共通理解できるよう話し合う機会を作っていきたい。</li> <li>*目の前の仕事に追われないよう準備や計画をしていきたい。</li> <li>*時間配分の計画性をしっかり学んでいきたい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの経験ができるよう準備や計画をしている。</li> <li>・天候により中止になっても柔軟に対応している。</li> <li>・夏祭りは短時間で行き暑さの負担が少なかった。</li> </ul>
<p>Ⅱ.保育の在り方、 幼児への対応</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年は特に作品展において、教師同士連携しながら保育できた。</li> <li>・保育についての疑問点や分からないことは、他の教師、園長に相談をしている。</li> <li>・常に明るく愛情をもって接し、特に朝の視診は一人ひとり丁寧にみている。</li> <li>・子ども達がどんなことに興味を持つのか、導入の仕方などで喜んで活動していくのか、試行錯誤しながら保育している。</li> <li>・自分の保育に満足せず、常に反省、考察をする努力をしている。</li> <li>・教師同士の連携、協力体制は引き続き大切にしていきたい。</li> <li>・学年で活動する機会を設け、意思統一連携を図っている。</li> <li>・子どもの表情や動作から、その子の気持ちを探したり理解したりする努力をしている。</li> <li>・子どもの様子などの情報共有ができて良かった。</li> <li>・一人ひとりに合った対応を心掛け、教師の思いを一方向的に伝えないようにしている。</li> <li>・教師の手が足りない所へのフォローにすぐ入れるように、全体を見るよう心掛けている。</li> <li>*表面的な所感や反省で終わらず、踏み込んで考えていきたい。</li> <li>*できるだけ子ども達と一緒に遊ぶようにしているが、全体を見るようにしていきたい。</li> <li>*担任の思いと食い違わないように確認やコミュニケーションを取る機会を作っていきたい。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品展では、園児の作品を輝かせるための展示方法の工夫がされている。</li> <li>・言動の観察、情報共有、アプローチのPDCAが園内で共有されている。</li> <li>・重点目標をよく理解し、適切に対応している事が、1年生の様子からわかる。</li> <li>・子どもの遊びについては、多様性の中での形態が様々で難しい。</li> <li>・園児や先生たちの元気な声がよく聞こえ、笑顔も見られる。</li> <li>・子ども目線で一緒に遊び、大人目線でおおらかに見守り、安心感のある環境である。</li> <li>・気になる表れのある子への対応を丁寧にし、保護者にも良い表れを伝えている。</li> <li>・作品展など園全体で指導している姿や協力体制がしっかりとでき、子ども達も安心して活動している。</li> </ul>
<p>Ⅲ.教師としての資 質や能力・良識・適正</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議では、自分の意見が言えるよう準備をして参加することができた。</li> <li>・子ども達の成長する姿に喜びを感じ、保育の楽しさを味わうことができた。</li> <li>・教師として常識ある行動を取るよう心掛けている。</li> <li>・決まりを守り真面目に仕事に取り組んでいる。</li> <li>・クラスの活動や生活がスムーズに行えるようサポートしている。</li> <li>・経験を生かしながら組織の一員として頑張っていきたい。</li> <li>・専門的なスキルアップ向上に努めている。</li> <li>・人として望ましい行動や考え方ができるよう努力している。</li> <li>・保護者の考え方など時代の変化に柔軟に対応できるように努力している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生たちの笑顔と頑張りがよく見られる。</li> <li>・会議で自由に意見が言えることは重要で、園の雰囲気づくりに良い効果がある。</li> <li>・教員のキャリアについては、自分のマネジメントが上手くいかないケースが多い。小中学校ではキャリアパスポートを児童は作成するが、教師は？となると返答に困る教師もいる。</li> <li>・普段の現場や行事など印象深いものにまとめている。</li> <li>・子どもや園の事を真剣</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>* 効率よく仕事ができるように頑張りたい。</li> <li>* 提出物などの期限はきちんと守れるようにしたい。</li> <li>* 全体にも目が行くよう意識していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>に考えていて、熱意と愛情を感じる。</li> <li>・ 掲示物など明るく楽しい環境になっている。</li> <li>・ ベテラン教師が、若手の教師に間近でサポートする体制ができています。</li> </ul>
IV.保護者への対応	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者に園での様子を伝える機会が多くあって良かった。</li> <li>・ 対応に困る事案には、先輩や園長に相談をしたり、職員間で共有したりしている。</li> <li>・ 誰にでも平等な対応、言葉使いを心掛けている。</li> <li>・ 保護者の考えや心配事、疑問点などに丁寧に対応している。</li> <li>・ 保護者と教師の関係性がうまく作れるよう、伝え方にも気をつけるようにしている。</li> <li>・ ブログやPDFからクラスの様子をたくさん知らせることができた。</li> <li>・ バスの送迎時にも保護者とコミュニケーションを取るよう努めている。</li> <li>・ 担当がやるべき事と自分がやったほうが良い事とを区別しながらサポートしている。</li> <li>・ 未就園児の保護者との関わりの中で、子育ての悩みや園生活についてなど丁寧に対応している。</li> <li>* 一方、保護者との距離感が難しいと感じる。適切な距離を保ちながら誠意を持って対応していきたい。</li> <li>* 活動に対する担当の思いやねらいなどを保護者に伝える工夫をもっとしていきたい。</li> <li>* 保護者に気になる姿を伝える事が難しいと感じるが、コミュニケーションをとりながら伝える努力をしていきたい。</li> <li>* 連絡ノートを活用して、園での様子できるだけ伝えていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者との対応について連携が取れている。</li> <li>・ 運動会での保護者の協力体制がよくできている。</li> <li>・ 先生とのコミュニケーションがしっかり図られている。</li> <li>・ 保護者との関係についてはどの機関も課題を抱えている。幼稚園は丁寧を実施しているようであるが、家庭の役割、園の役割についてのガイドラインなどを示していく必要もある。</li> <li>・ 小学校では時間外の対応や電話の録音ガイダンスを保護者に提示している。</li> <li>・ クロムブックによるITCも始まっているため、予定や持ち物など児童のクロムブックへ担任から配信されるため、それを保護者が見て確認している。</li> <li>・ 保護者に送迎の時など子どもの様子を話す姿からお互いの信頼関係を感じるが、一方で多様な保護者との難しさもあると思う。</li> <li>・ 連絡ノートで園の様子や家庭とは異なる成長の表れを知らせてもらえることは有り難い。</li> <li>・ 教職員の丁寧な対応が有難く安心できる。</li> </ul>
V.地域の自然や社会との関わり	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども達にとっていろいろな体験ができる地域や小、中、高校との関わりをこれからも大切にして、継続していきけるようにしていきたい。</li> <li>・ 散歩の時など進んで挨拶するようにしている。</li> <li>・ 田町小学校の児童と交流したり給食の見学をしたり、入学を楽しみにすることができた。</li> <li>・ 未就園児やその保護者に、担当者でなくても積極的に声を掛けるようにしている。</li> <li>・ 「なかよしちゅうりっぷ」「いろどりサロン」「子ども誰でも通園制度」など未就園の子ども達が園に来る機会が多くなったので、できるだけ声を掛けるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の行事に積極的に参加しているのは、保護者の理解もあるからだと思う。</li> <li>・ 体験活動は教師の負担にならない程度に行う事が良い。</li> <li>・ 働き方改革が進められている中、「やらない」勇気も必要であり、本当に必要なのか、教育効果があるのかよく検証し、日常を大切にする教育を進めていってほしい。小学校もそのようにしている。</li> <li>・ 小.中.高.地域社会とのつ</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>*年長児だけでなく他の学年も関わりが持てるよう、幼稚園側からもお願いをしていきたい。</li> <li>*園外に散歩に出るなど地域の人たちと関わる努力をしていきたい。</li> <li>*地域の特長や子育て支援について、もっと意識していきたい。</li> <li>*地域の自然や安倍川の利用など園外へ出る機会を多くし、恵まれた環境を大いに活用していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>なごりを大切にし、良い刺激になっている。</li> <li>・四季折々の自然や伝統行事に触れる機会が多い。</li> <li>・田町幼稚園ならではの体験が、これから広い世界に目を向ける第一歩となっている。</li> <li>・自然と接する機会、四季の移り変わりなど安倍川を有効に使ってほしい。</li> </ul>
VI.研修と研究	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい情報や疑問を学び、実践して良いことは広めるようにしている。</li> <li>・他の教師に聞いたり考え合ったりしながら保育を進めていくことができた。</li> <li>・専門書を読む、他園への実習など学んだことを実践することができた。</li> <li>・教師としての専門性や自己成長のために学ぶ努力をしている。</li> <li>*自分から研究、研修に参加する努力は常にしていきたい。</li> <li>*専門的な知識を学び、自分を高める努力を心掛けたい。</li> <li>*積極的に研修に参加できたので、園内でも課題を見つけ研修、研究し合えるよう時間を作っていきたい。</li> <li>*失敗しても次に生かす努力をしていき、学ぶ姿勢は常に持ち続けていきたい。</li> <li>*園内研修においても協力し合って進めていきたい。</li> <li>*様々な課題について考えることはあるが、職員間で話し合う時間を生み出すことが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々忙しいが、子供たちのために研鑽してほしい。</li> <li>・OJT教育については、どの機関でも積極的に進められていると感じる。</li> <li>・ベテランから若手まで情報を共有しながら、田町幼稚園の「良さ」「伝統」「協調性」を前面に出しながら研修を進めていってほしい。</li> <li>・小学校も協力していきたい。</li> <li>・研修で学んだ新しい歌や踊りなどを積極的に取り入れ、運動会で新たな趣向を見せている。</li> <li>・教師の専門性の高さ、引き出しの多さを、子どもの様子から感じる。</li> <li>・日々の業務の忙しさの中にも学び続けようという姿や新たな取り組みに挑戦しようとする姿が見られる。</li> </ul>

#### 4. 本年度の重点目標の総合的な評価結果

- ・子ども達の表れについて教師間で相談、共有することで、担任だけでは気付かない良さを見出すことができたので、教師同士のコミュニケーションを図り、信頼関係を深めながらより良い保育が出来るよう努力していきたい。
- ・地域や小中高生など外部の方との触れ合う機会も多くあり、いろいろな方々から褒めてもらうことで自信が付き、子ども達の良さを更に引き出すことができた。また、改めていろいろな経験の大切さを感じることができた。
- ・子どもや保護者に対して、指導だけでなく支援が必要となってきている。そのために良い環境を整え、保護者とは信頼関係を築いていくことを大切にしていきたい。
- ・結果だけでなくその過程や教師の思いが大切であると感じるので、保護者にもできるだけ伝えていきたい。

## 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保育の計画性、在り方について</li> <li>• 研修、研究について</li> <li>• 保護者への対応について</li> <li>• 地域の自然や社会との関わり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子ども達の成長のために、様々な行事や体験の大切さを改めて感じる一方で、何のための活動なのか、体験から子ども達は何を学ぶことができたのか、またどんな面が伸びたのか、などを考え、見直したり改善したりして次年度に臨みたい。</li> <li>• 遊びや生活の中で活動のつながりや一年の成長をしっかりと感じられるよう、また幼児期の終わりまでに育てたい10の姿を意識しながら保育を考えていく。</li> <li>• 保護者にも幼稚園で育てていきたい事、保育のねらい、成長した点などを伝え共通理解のもと、子ども達を育てていけるようにしていく。</li> <li>• 園内研修のテーマについては2年継続で行っていき、さらに踏み込んで研究ししていけるよう教師間での話し合いを充実させていく。</li> <li>• 外部の研修で学んできたものを自分たちの保育や活動に照らし、見つめ直していく努力をする。</li> <li>• ブログ、連絡ノート、毎月のPDFで、日常の子どもの様子や行事での姿などを発信しているが、保護者がどんなことを知りたいのか、伝えるべきことは何か、我が子の学びや成長の姿に関心を持ってもらえるようにするにはどのような方法が良いのかなど、深く捉え提供していく。</li> <li>• 伝統行事や四季折々の自然を保育計画の中に取り入れる努力をする。</li> <li>• 未就園児とその保護者に、園の楽しさや魅力ある園として興味関心を持ってもらえるよう、教職員全員で取り組んでいく。</li> </ul>

## 6. 学校関係者評価委員会からのコメント

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校教育も、学校独自の学習、経営を行うようになってきている。(福祉体験、哲学、自分の考えを発表すること、課題を建設的に考えることなど)</li> <li>• クロムブックを取り入れて、教師間で情報共有をし、子ども、保護者、担任が確認できるようにしている。</li> <li>• ICT化して黒板もなくなっていく。</li> <li>• 経験の基礎となる幼稚園の遊びや活動は、特に大事になっていく。自立していく子どものことを考え、たくましく、しなやかに生きていけるようにして欲しい。</li> <li>• 地域としては、祭りなどを通して親睦を図っていきたい。来年度は安倍川花火の絵画を募集する。今までにない試みをしていきたいと考えている。</li> <li>• 今後も経験が大切になっていくので、色々な体験をさせてほしい。</li> </ul>
--